

U * STATION 6 ダッシュボードご利用ガイド

Ver. 1.0

事前準備

1. パスワードの登録

利用方法

- 2. ダッシュボードの日本語化
- 3. 基本画面構成
- 4. ロケーション分析
 - 4-1.店舗への訪問者数を確認する
 - 4-2.店舗へ訪問した人の滞在時間を確認する
 - 4-3.店舗へ訪問した人の訪問頻度を確認する
- 5. Wi-Fi利用量をランキング形式で確認する
- 6. Wi-Fiで利用されたアプリケーションを確認する
- 7. Wi-Fiで計測するデータについて

◆ ダッシュボードとは

お客様の店舗やオフィスのWi-Fiのご利用状況を収集し、一覧表示したものです。 マーケティングやIT管理にご活用ください。

1. パスワードの登録

・ ダッシュボードを利用するためのパスワードを登録します

1. 利用開始日の前日(土日祝を除く)に、差出人「Cisco Meraki」より、以下のメールが届きます。

本文内の「Choose your password here」をクリックします。

※ 本メールは『【重要】Wi-Fiサポートセンタからの連絡先の確認』の件名で送付されるメール内の承認を行ったお客様に送付されます。

差出人: Cisco Meraki

件名: Welcome to Cisco Meraki

Hi ()()!

You have been signed up for a Cisco Meraki account with administrator privileges to a network in the organization "U-STATION 6." Your login

email is xxxx.xxxx@xxxx.co.jp.

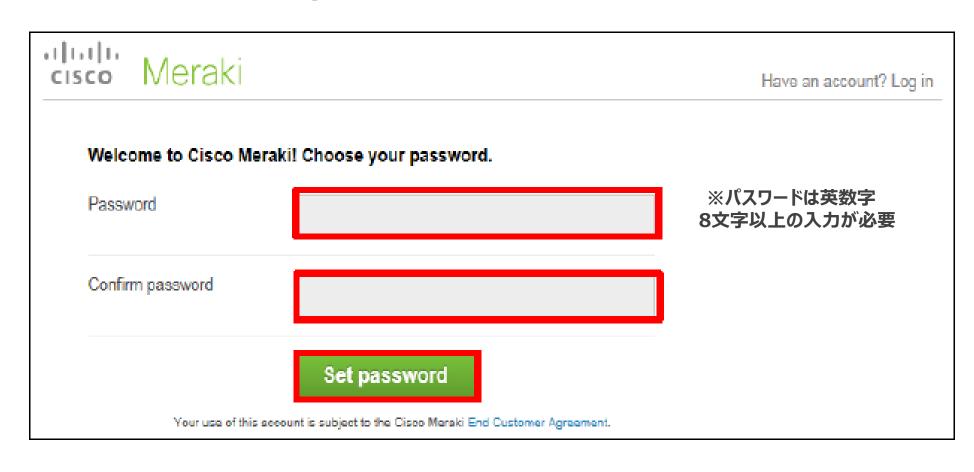
Choose your password here.

Thanks,

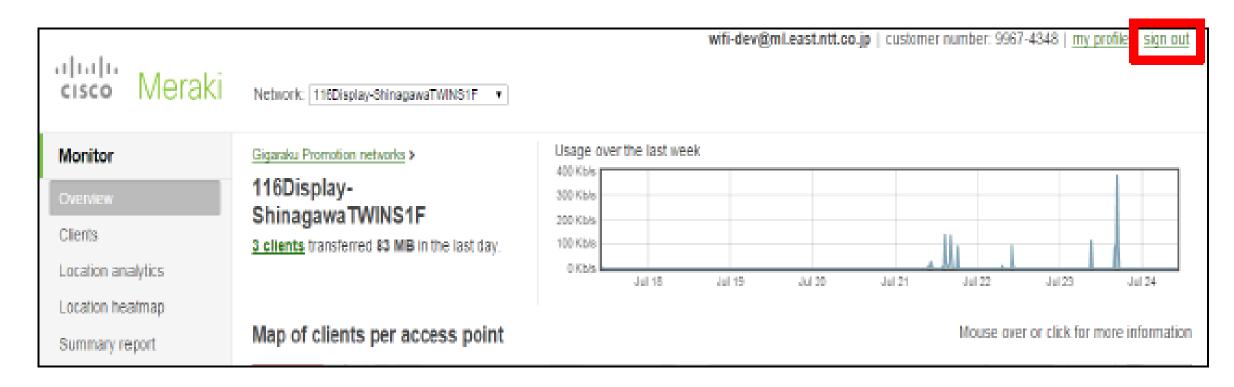
Cisco Meraki

✓ Cisco Merakiとは・・・ 「U-STATION 6」のアクセスポイント装置の製造会社

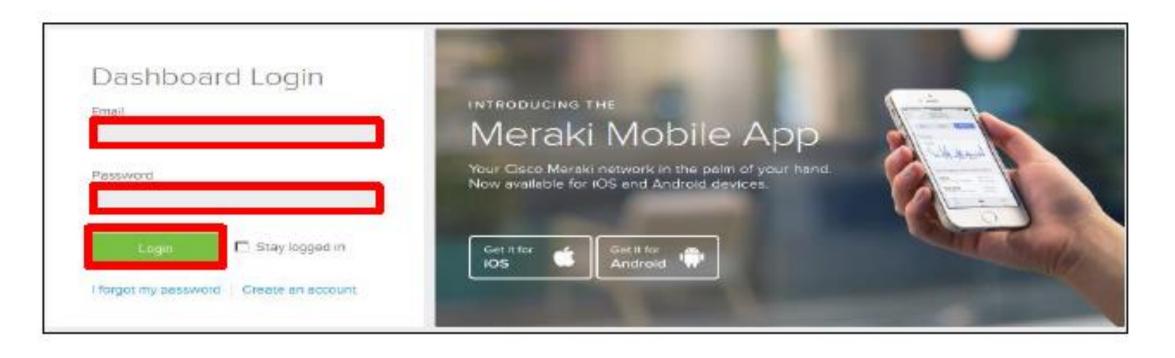




- ダッシュボードを利用するためのパスワードを登録します
 - 3. 右上の「sign out」をクリックし、ログアウトします。



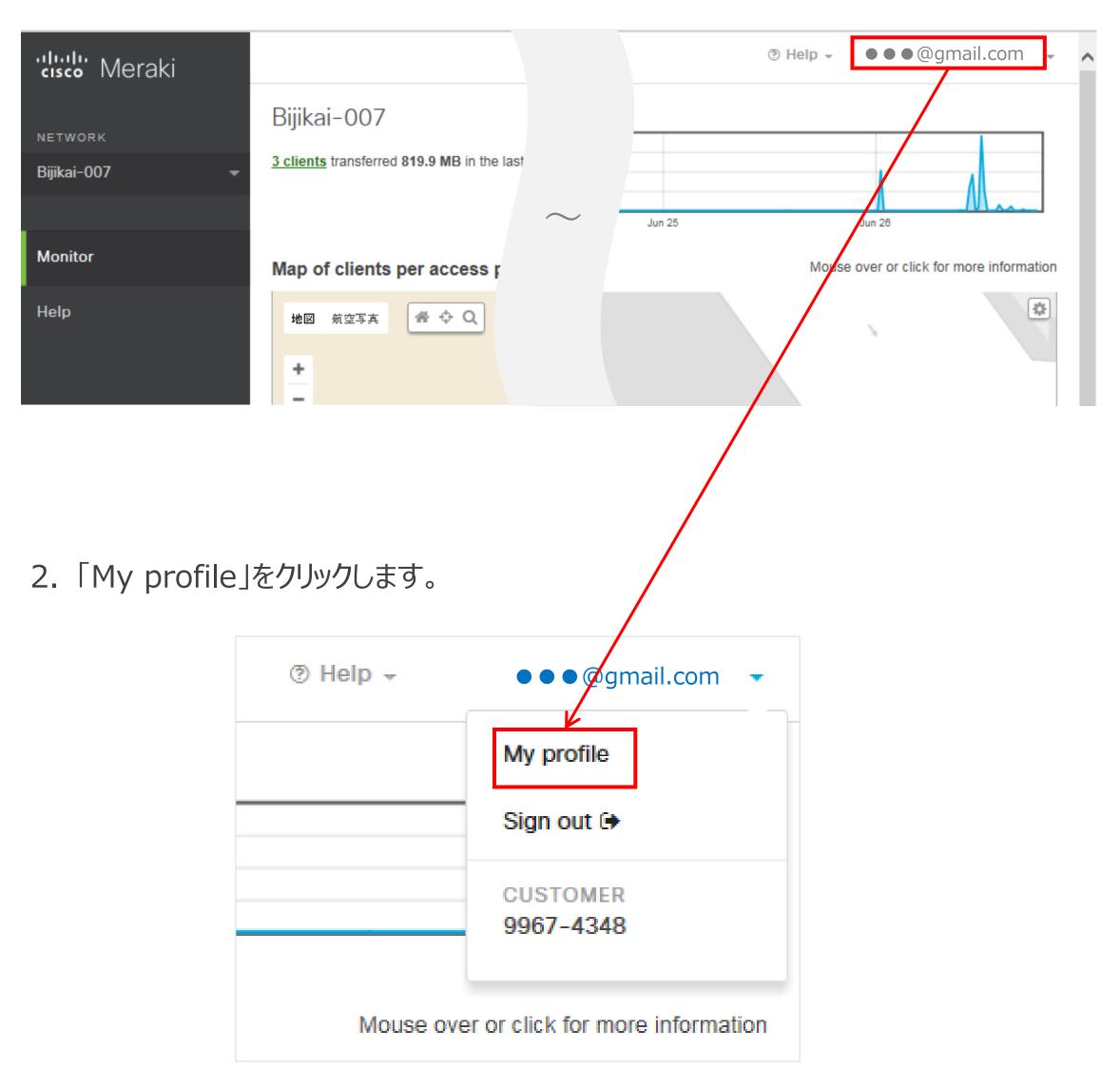
- 4. ログイン画面が表示されるので、「<u>Login</u>」をクリックしてログインします。
 次回以降、この画面(<u>https://dashboard.meraki.com</u>)から、メールアドレスと
 登録したパスワードを入力しログインをしてください。
 - ※ ログイン画面をお気に入り登録しておくことをお薦めいたします。



これで、事前準備は完了です!

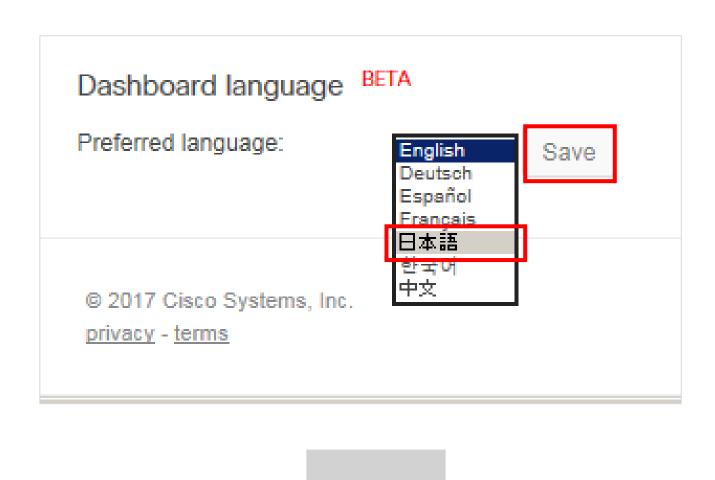
2.ダッシュボードの日本語化

- ダッシュボードはデフォルトでは英語表記ですが、日本語表記に変更することができます。
 - 1. ダッシュボードにログインし、トップページ右上の「ログインID(メールアドレス)」をクリックします。



2.ダッシュボードの日本語化

- ダッシュボードはデフォルトでは英語表記ですが、日本語表記に変更することができます。
 - 3. <u>Dashboard Language</u>の<u>Preferred language</u>から「<u>日本語</u>」を選択し、「Save」をクリックします。



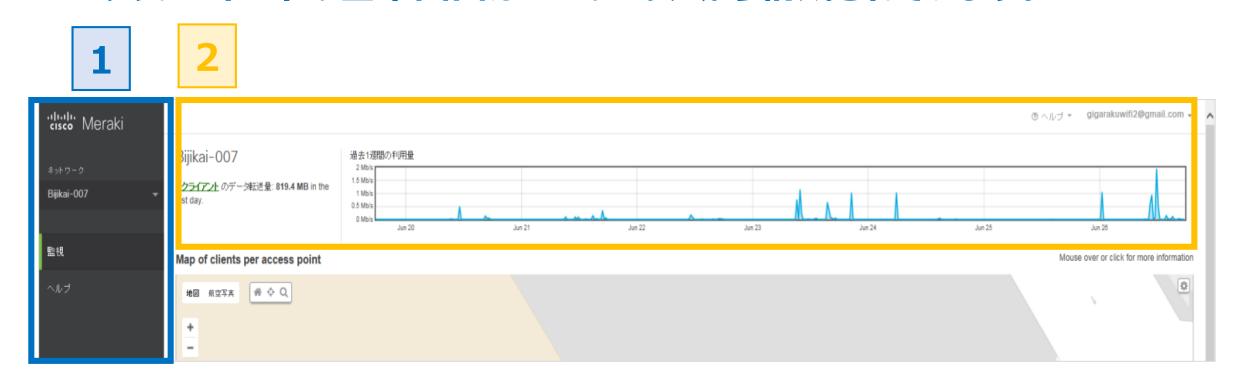
4. ダッシュボードが日本語表記に変更になります。



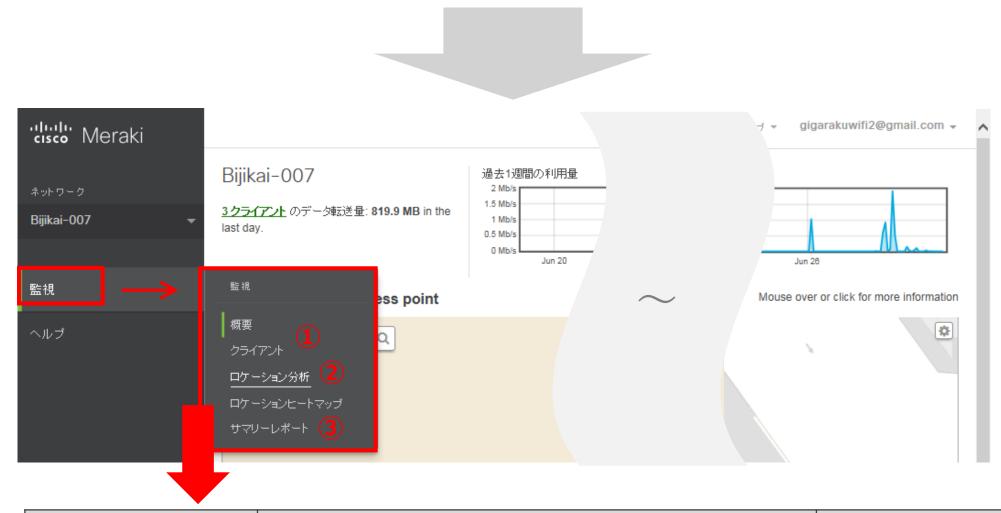
これで、ダッシュボードの日本語化は完了です!

3.基本画面構成

・ ダッシュボードの基本画面は2つのエリアから構成されています。



- 1. カテゴリ選択エリア【1】について
 - ・ カテゴリを選択して、詳細表示エリア【2】の画面表示を切り替えます
- 2. 詳細表示エリア【2】について
 - ・ カテゴリ選択エリア【1】で選択された情報が表示されます



カテゴリ	知りたい情報	参照ページ
①クライアント	Wi-Fiで利用されたアプリケーションを確認する	P.15~16
②ロケーション分析	店舗への訪問者数を確認する	P.9
	店舗へ訪問した人の滞在時間を確認する	P.10
	店舗へ訪問した人の訪問頻度を確認する	P.11
③サマリーレポート	Wi-Fi利用量をランキング形式で確認する	P.12~14

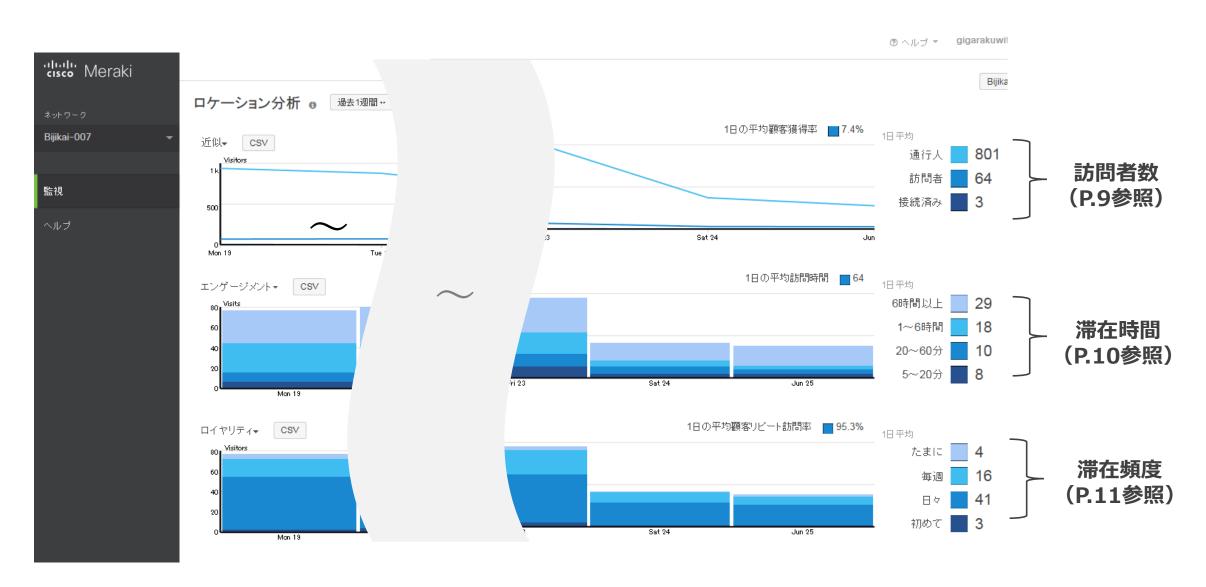
4.ロケーション分析

- ・ ダッシュボードの基本画面は2つのエリアから構成されています。
 - 1. カテゴリ選択エリアから「ロケーション分析」をクリックします。



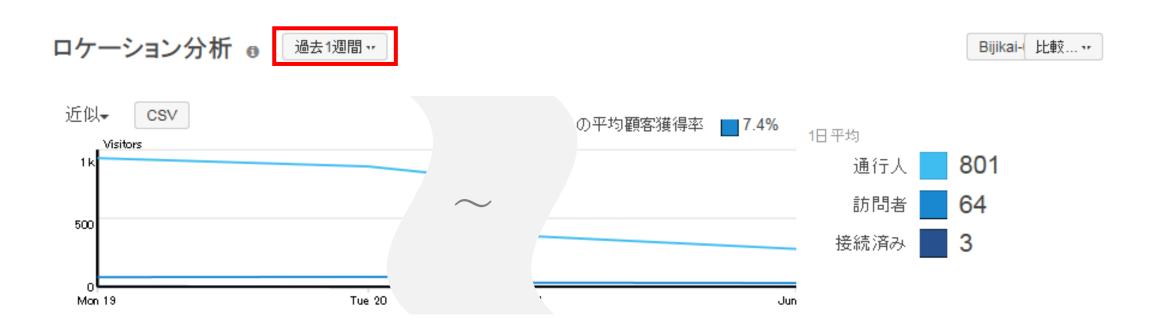


2. ロケーション分析の画面が表示されます。



4.ロケーション分析

- ・ ダッシュボードの基本画面は2つのエリアから構成されています。
 - 3. グラフの表示期間は変更が可能です。 (過去1日/過去1週間/過去1ヶ月間/任意の期間)が選択できます。

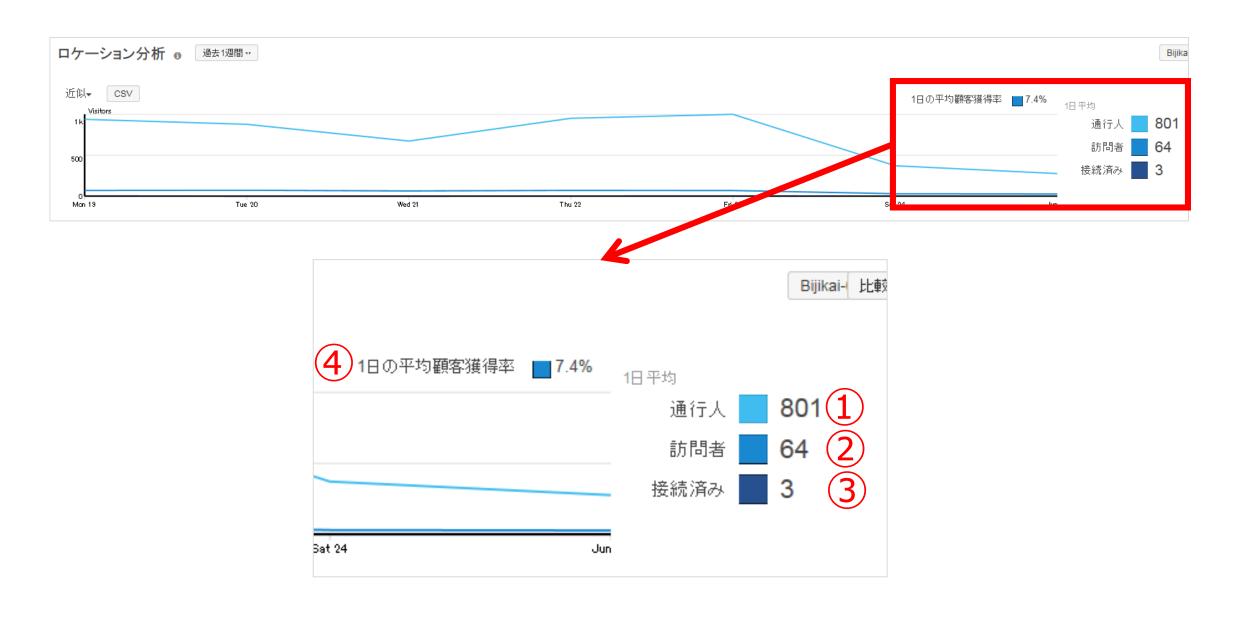


4-1.店舗への訪問者数を確認する

・ 店舗への訪問者(APの電波環境下に入った人数/Wi-Fiに接続した人 数)を確認できます。

曜日毎の混雑状況を見ることで、勤務体制やメニューの検討を行ったり、キャンペーンの来客効果確認など、様々なマーケティング利用が可能です。

1. 「ロケーション分析」グラフより訪問者数(①、②、③、④)を確認します。



訪問者数(1日平均)

	区分 定義		訪問者数
1	通行人	AP電波環境下※1に5分未満滞在した人数	801人
2	訪問者	AP電波環境下※1に5分以上滞在した人数	64人
3	接続済み	Wi-Fiに接続した人数	3人
4	1日の平均顧客獲得率	訪問者の割合 <②/(①+②)>	7.4%

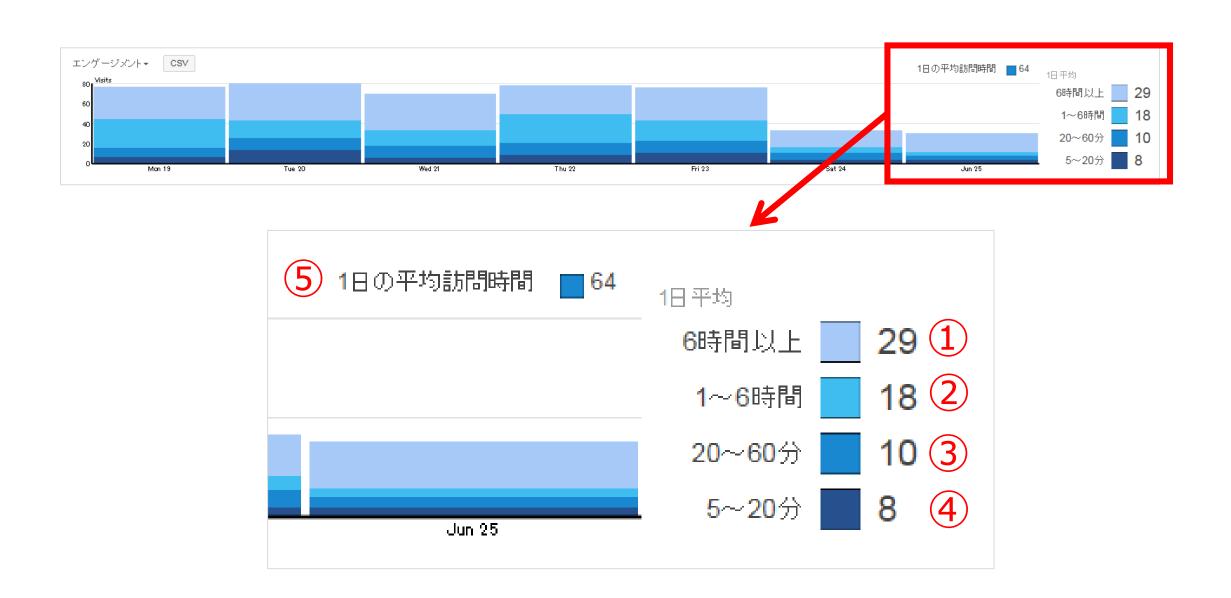
※1 APから半径約25m以内

✓ AP電波環境下における留意点

APを店舗等の出入口付近に設置した場合、店舗には直接関係の無い通行人を(Wi-Fi機能をオンにしている人に限る)カウントする場合があります

4-2.店舗への訪問した人の滞在時間を確認する

- 店舗のAP電波環境下に入った人の滞在時間を確認できます。滞在時間 を延ばす、回転率を上げる施策の効果検証等のマーケティング利用が可 能です。
- 1. 「エンゲージメント」グラフより訪問者の滞在時間(①、②、③、④、⑤)を確認します。

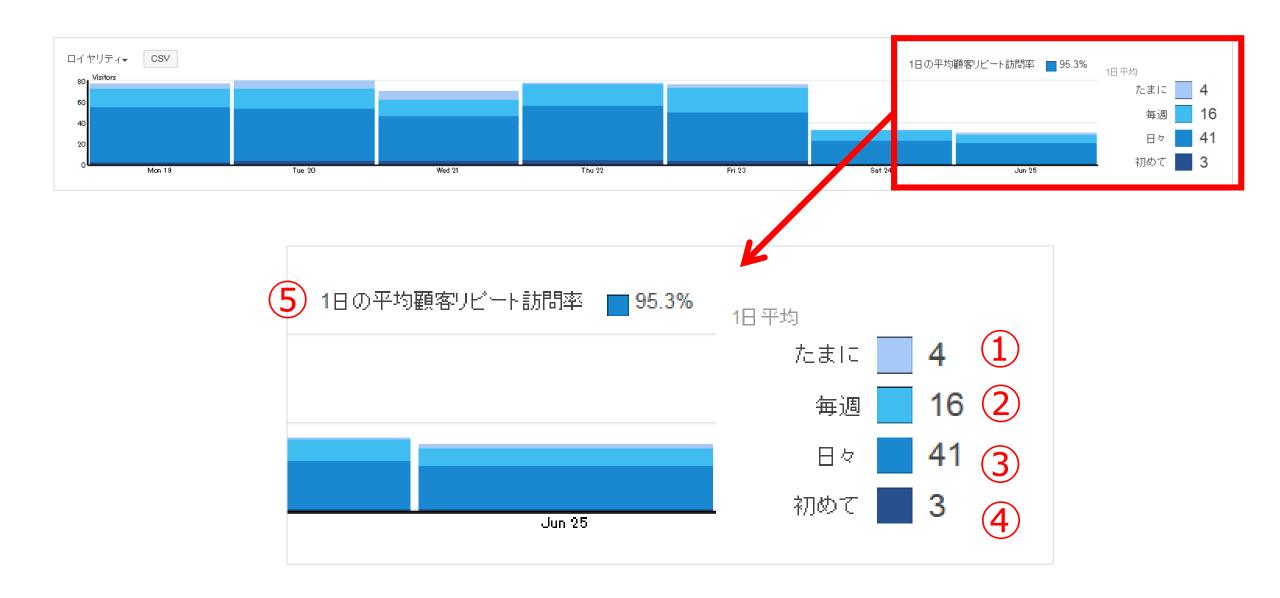


滞在時間(1日平均)

	区分	定義	訪問者数
1	6時間以上	6時間以上滞在した人数	29人
2	1~6時間	1~6時間滞在した人数	18人
3	20~60分	20分~60分滞在した人数	10人
4	5~20分	5分~20分滞在した人数	8人
(5)	1日の平均訪問時間	1234の合計人数	64人

4-3.店舗への訪問した人の訪問頻度を確認する

- 店舗のAPの電波環境下に入った人の訪問頻度を確認できます。リピート 客の割合把握(曜日毎のリピート客把握)や新規顧客増を狙ったキャンペーン効果等のマーケティング利用が可能です。
 - 1. 「ロイヤリティ」グラフより訪問者の訪問頻度(①、②、③、④、⑤)を確認します。



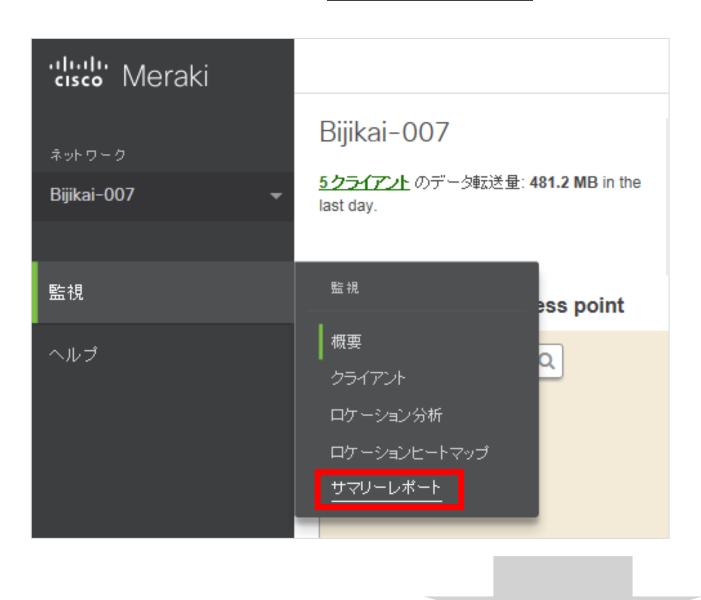
訪問頻度(1日平均)

	区分	定義	訪問者数
1	たまに	1ヶ月に3回未満訪問した人数	4人
2	毎週	1ヶ月に4回以上訪問した人数	16人
3	日々	8日に5回以上訪問した人数	41人
4	初めて	直近1ヶ月で初めて訪問した人数	3人
(5)	リピート率	(1+2+3) / (1+2+3+4)	95.3%

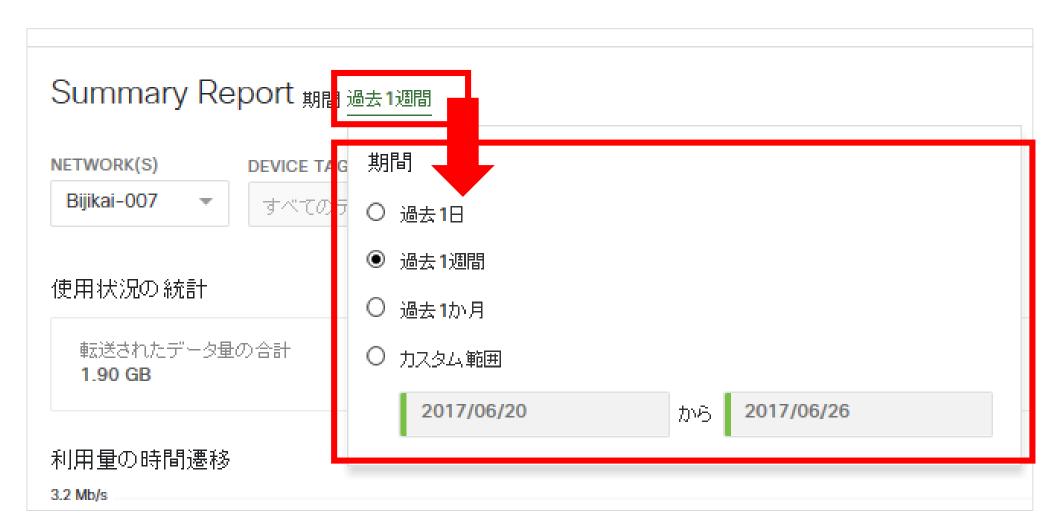
※ MACアドレスで訪問者をユニークに認識しています

5.Wi-Fi利用量をランキング形式で確認する

- ・ Wi-Fiの曜日別接続者数や、アプリケーション別ランキングを確認することができます
- 1. カテゴリ選択エリアから「サマリーレポート」をクリックします。

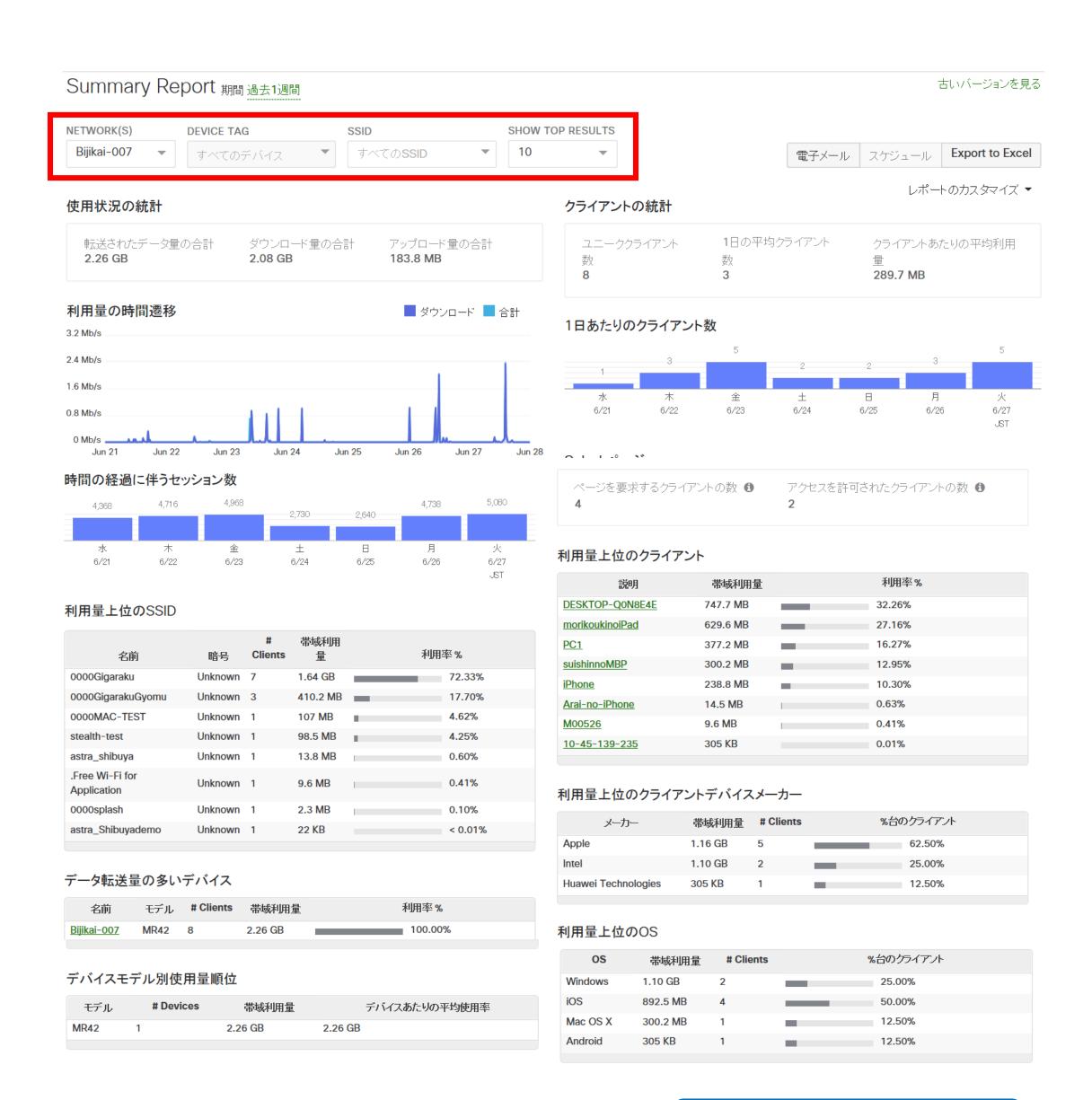


2. サマリーレポートのトップページからグラフ表示期間を変更できます。 (過去1日/過去1週間/過去1か月/カスタム範囲)が選択できます。※下図は過去1週間



5.Wi-Fi利用量をランキング形式で確認する

NETWORK、DEVICE TAG、SSID別にフィルタをかけてサマリーレポートを確認することができます



5.Wi-Fi利用量をランキング形式で確認する

利用量上位のアプリケーションをアプリケーション名とカテゴリ別にランキング表示します

→ 前ページの続き

トップアプリケーションカテゴリ

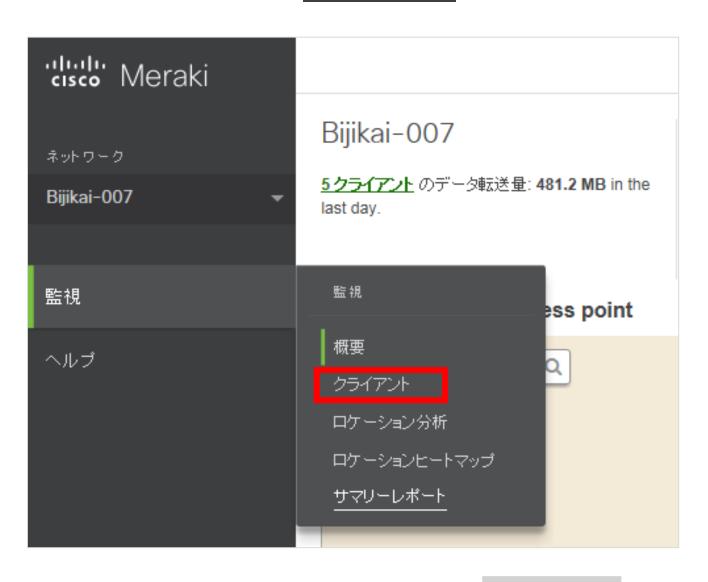
カテゴリ	帯域利用量		利用率%
Other	1.17 GB		78.33%
Online backup	109.6 MB		7.19%
Software & anti-virus updates	84.2 MB		5.52%
Music	68.2 MB		4.47%
Video	35 MB		2.30%
Social web	26.1 MB	1	1.71%
Email	3.3 MB		0.21%
File sharing	3.2 MB		0.21%
News	637.9 KB		0.04%
VoIP & video conferencing	142.9 KB		0.01%

利用量上位のアプリケーション

アプリケーション	帯域利用量		利用率%
microsoft.com	642.3 MB		42.12%
Miscellaneous secure web	253 MB	_	16.59%
apple.com	171.8 MB		11.26%
iCloud	109.6 MB		7.19%
Software updates	84.2 MB		5.52%
<u>iTunes</u>	68.2 MB		4.47%
Miscellaneous video	35 MB		2.29%
<u>CDNs</u>	32 MB		2.10%
Miscellaneous web	23.5 MB		1.54%
Meraki HTTPS	22.1 MB		1.45%

6.Wi-Fiで利用されたアプリケーションを確認する

- ・ Wi-Fi利用者の利用アプリケーションやアプリケーション毎のデータ利用量を確認できます
- 1. カテゴリ選択エリアから「クライアント」をクリックします。



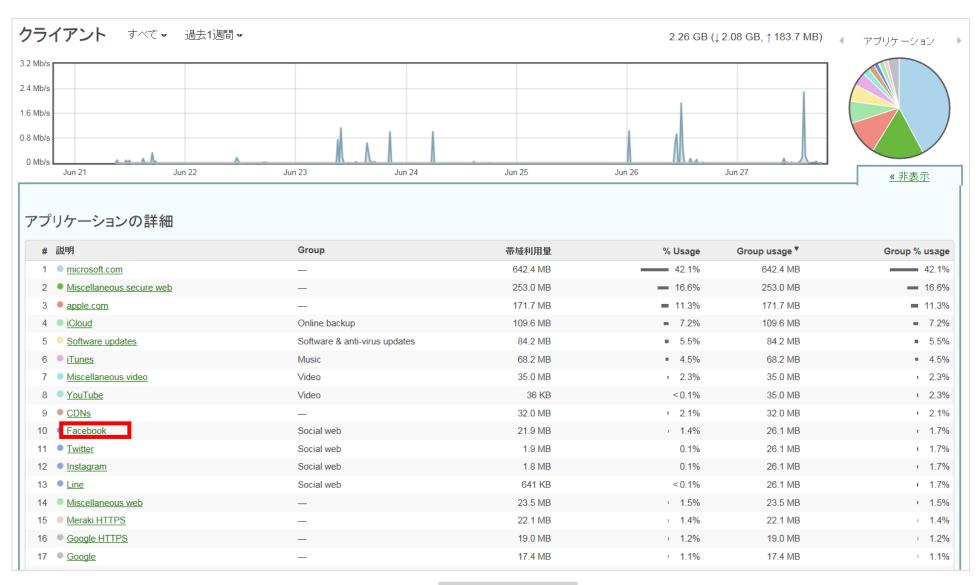




6.Wi-Fiで利用されたアプリケーションを確認する

- ・ Wi-Fi利用者の利用アプリケーションやアプリケーション毎のデータ利用量を確認できます
- 3. 利用されたアプリケーション毎のデータ量を確認します。

(例: ここではFacebookをクリックします。)



- 4. 選択したアプリケーションの詳細情報が確認できます。
 - ①アプリケーション情報、②アプリケーションデータ通信料、③アプリケーション利用端末情報



7.Wi-Fiで計測するデータについて

ダッシュボードで計測するデータについて

- Wi-Fiアクセスポイントは自らの周辺にあるWi-Fi端末(スマートフォン、タブレット、 ノートPC等でWi-Fi機能をONにしている端末)の発する電波をキャッチします。
- ダッシュボードに表示されるデータは、お客様の店舗やオフィスに設置した「U-STATION 6」のアクセスポイント装置で計測したものです。
- お客様が複数のアクセスポイントを契約されている場合、店舗やオフィス単位に、それらのアクセスポイントをまとめて集計しています。

Wi-Fiで計測するデータの特徴

- 店舗のドアの人感センサー等に比べ、店舗の周囲(電波の届く数十メートルの範囲)の通過者や来店者の滞在時間等を把握することが出来ます。これは、従来のPOSシステムのデータで把握できなかった、販売前の潜在顧客データになります。
- 調査員を雇ってのスポット調査(目視とカウンターによる来店者数などの計測)に 比べ、リアルタイムで、期間を細かく区切った比較が可能です。

Wi-Fiで計測するデータの注意点

• Wi-Fiアクセスポイントで計測する情報は電波の強さを測ることで得られるため、スマートフォン等の端末からの電波が弱い等の理由により、例えば「訪問者」と分類すべきところを「通行人」と分類する可能性があります。また、従業員のスマートフォン等の電波をキャッチし、カウントに含めている可能性もあります。